

令和2年度 年間教科シラバス

中学・高校	中 学	学 年	2 年	コ ー ス	
教 科	道 徳	科 目	道 徳	単 位 数	1
担 当 者	1組	永井 孝裕			
教科書	中学 道徳 あすを生きる2(日本文教出版)		副教材		

○学習到達目標

- ① 他者から学ぼうとする謙虚な態度を養う。
- ② 最上級生としての範を示し、自らすすんで行動し、その結果に責任をもつ態度を養う。
- ③ 自己中心的ではなく、お互いを労わり、励ましあう心を培う。

○教科道徳教育到達目標

自らの人生をよりよいものにするために、人間としての在り方や生き方についての考え方を深める学習を通して、自己を見つめ直し、物事をさまざまな視点から考えることで、物事の善悪を見極める道徳的な判断力を身につけ、善を行うことを喜び、悪を憎む感情を培うとともに、それを実践する意欲と態度を育てる

○学習方法

- ① 登場人物の判断や心情を自分の実態と重ね合わせ、物事を多面的・多角的に考えることで、道徳的諸価値の理解を深める。
- ② 問題解決的な学習を通して、道徳的な問題を多面的・多角的に考え、自分自身が生きていくうえで巡り合うさまざまな問題や課題を主体的に解決するために必要な資質や能力を養う。
- ③ 疑似体験的な表現活動を通して、道徳的価値の理解を深め、さまざまな課題や問題を主体的に解決するために必要な資質や能力を養う。

○グレード別授業の基準

○評価方法

各学期ごとに、下記評価基準に基づき、学期成績を算出し、すべての学期成績の平均を学年成績とする。

評価の観点		評価のポイント	週考査	期(学年)末考査	平常点	AP	その他	備考
A	道徳的心情	道徳的価値の大切さを感じ、自己を見つめ、よりよい生き方を考えられる。						
B	道徳的判断力	物事を多面的に考え、どのように対処することが適切なのかを判断できる。						
C	道徳的実践意欲と態度	道徳的価値を実現しようと適切な行為を主体的に選択し、実践できる。						
D								
E								
評価の割合(%)								

「道徳」では、数値的な評定は行わない。

○担当者より

私たちは生きていく上で否応なく他者と衝突してしまいます。しかし、それは決して悪いことばかりでなく、自らの成長につながる糧となるものもあるのです。他者と自分が衝突を繰り返しながらも、どのように繋がりを、高めあうことができるか、それを学ぶのが道徳です。様々な作品を読み込み、今の自分を内省してください。